

公民館だより なかがわ

第523号

令和8年6月5日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501



中川地区 さわやかコンサート

「アンサンブルだっちゃん」

日時：7月4日(土)
開場 10:30 開演 11:00~
場所：中川地区公民館 集会室
入場料：無料
募集人数：年齢問わず 中川地区民50名程度
申込方法：電話か来館にてお申込み下さい

※中川地区公民館での開催です！
お間違いのないようにお願いします。

※チラシは、5月に地区回覧しています！

参加者募集

毎年大好評です！

「スマホ教室」開催

第1回 7月7日(火) 10:00~12:00
「スマートフォンの基本とLINE体験」

第2回 7月28日(火) 10:00~12:00
「スマートフォンの基本とネット詐欺対策」

※どちらか1日のみか、両日か申込時にお伝え下さい。

※デモ機を使っての講習になりますが、お使いのスマートフォンの質問の時間もあります。

これからスマートフォンを使いたい方も参加できます！

場所：中川地区公民館 集会室

講師：携帯電話会社講師

持ち物：お使いのスマートフォン

(どの会社のiphone/android どちらも可)

飲み物、必要な方は眼鏡

対象：中川地区民 各回20名程度まで

(定員になり次第受付終了)

参加費：無料 (※参加者5名未満で中止の場合あり)



お申込み・お問合せ：中川地区公民館 (☎679-2501)

6月・7月 行事予定

- 6/2(火) 食改主催「笹巻作り講習会」
- 6/3(水) 三者会、中川地区会長会、公民館連絡協議会
- 6/5(金) 市報、館報、公民館職員合同研修会(午後より職員不在)
- 6/8(月) 主事部会
- 6/9(火) 一般講座「みそ作り教室」
- 6/11(木) 自衛消防訓練
- 6/12(金) そば打ち愛好会
- 6/13(土) 蔵王山頂清掃とつつじまつり
- 6/15(月) ~17(水) 笹巻き宅配事業
- 6/17(水) 福祉村だより編集委員会
- 6/19(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
- 防犯協会中川支部幹事会
- 6/23(火) パソコンクラブ
- 6/26(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)

- 7/1(水) 市報、館報、食改研修会
- 7/3(金) 補助金審査委員会、三者会、中川地区会長会
路線バス対策協議会
- 7/4(土) さわやかコンサート
- 7/7(火) 一般講座「第1回スマホ教室」
- 7/10(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
- 7/15(水) ~16(木) 会長会研修旅行
- 7/17(金) パソコンクラブ
- 7/21(火) そば打ち愛好会
- 7/24(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)
- 7/26(日) 中川地区夏の安全パレード
- 7/27(月) わんぱく広場「花火祭り」
- 7/28(火) 一般講座「第2回スマホ教室」
- 7/31(金) 市報、館報、福祉村だより

休館日のお知らせ

8月12日(水)、13日(木)は休館日となります。
ご不便おかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

グラウンド・ゴルフ愛好会

(月曜日) 6/1、8、15、22、29

詩吟教室(火曜日) 6/2、9、23

ラージピンポン愛好会(木曜日) 6/4、11、18、25

スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 6/4、11、18、25

【一般講座】「押し花でガラスのコースター作り」

5月19日（火）一般講座「押し花でガラスのコースター作り」が開催され、講師の佐竹 京子先生に来ていただきました。先生に準備していただいた色とりどりの素敵な押し花を、粘着のあるシートの上に置いていきます。いったん置いてしまうと剥がせないで、皆さんどの花をどこに配置するかじっくり考えて仮置きしながらイメージを膨らませていました。2つのコースターが作れるので、1つは青色系、もう一つはピンク色系でまとめてみると、先生にご指導いただきながら、それぞれ个性的で素敵なコースターが出来上がりました！参加者の皆さんからは、「楽しかった〜♪」との声もいただき、楽しい時間を過ごすことができました。



「中川粋いき倶楽部」開講式

5月26日（火）令和8年度中川粋いき倶楽部の開講式が開催され、会員26名での活動となります。開講式では、今年度の事業予定・予算案の承認を得て、会員さんお一人ずつ自己紹介をしていただきました。その後、上山警察署の笹原巡查部長にお越しいただき、「特殊詐欺の事例と対策について」をテーマに「防犯対策講座」を開催いたしました。山形県内でも多く発生している特殊詐欺ですが、実際に起こっている詐欺の例や実際の会話も聞くことができました。騙されないためのポイントも教えていただき、改めて防犯対策の必要性を実感しました。講座中に、会員の皆さんのスマホに特殊詐欺対策アプリの設定もしていただきました。自分は騙されないという自信が、異常を正常と思いついてしまうことがあるそうです。少しでもおかしいと思ったら、疑ってみることが必要です。

下記の3つのポイントを忘れずに、詐欺に合わないようにしましょう！！

- 1.知らない電話に出ない
- 2.振り込む前に誰かに相談する（警察も可）
- 3.詐欺対策アプリを入れる

中川粋いき倶楽部は年9回の事業を予定しております。多くの会員の皆さんが楽しく参加していただけるような学び・交流の場を提供していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



ウォーキング教室「せせらぎ公園コース」



5月29日（金）第2回ウォーキング教室は中山町の「せせらぎ公園」で開催されました。公園内からは最上川の流れと左沢線最上川橋梁（現役で活躍する国内最古の鉄道橋）や朝日連峰そして月山までが見え、五月の晴れ渡る空の下、時より吹く風に癒されながら、ゆっくりと歩いて来ました。



中川地区グラウンド・ゴルフ大会

5月23日(土)中川地区公民館体育部主催の『第34回中川地区グラウンド・ゴルフ大会』が開催されました。前日までの雨模様でしたが開催当日は五月晴れととても過ごしやすい中、一般・愛好会チーム、小学生・中学生チーム合わせて10チームに分かれて、館長の試技で競技開始です！緊張していた様子の子供たちも、徐々に楽しそうな笑い声が聞こえてきました。コツを掴むのがとても早く、プレーする毎に歓声があがっていました。一方、毎週公民館の広場で練習しているグラウンド・ゴルフ愛好会の方々は、さすがなプレー続出で、ホールインワンもたくさん出ていました。いつもとは違い、永野地区愛好会の方々やお孫さんや子供たちと一緒に参加することで、普段よりも楽しくプレーしていただけたのではないのでしょうか？日頃の練習の成果をたくさん発揮出来たのではないかと思います。

お忙しい中、お手伝いいただきました体育委員、スポーツ推進員、地域づくり推進員、そして付き添っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年度も開催できるよう公民館、体育委員ともに協力し進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。




一般の部

大会結果



小・中学生の部



優勝 齋藤 茂和 さん
準優勝 山口 都多子さん
第三位 加藤 武雄 さん

優勝 山田 零穂さん
準優勝 鏡 幸姫さん
第三位 加藤 滯さん



防犯協会中川支部総会

5月15日(金)防犯協会中川支部総会が開催され、事業計画や予算案について協議し、長年実施してきた防犯診断に代わり、地区内一斉の広報啓発活動の実施など、事業内容を一部見直すこととしました。夏の安全パレードや研修会は継続します。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



お知らせ

クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)を活用しましょう!

10月21日(水)まで、冷房設備のある市内の公共施設をクーリングシェルターとして開放しています。熱中症に注意して、外出時など暑いときはクーリングシェルターで涼みましょう!!

中川地区公民館でも、開館時間に開設しておりますので、お気軽にお立ち寄りください!

(※事業により公民館が閉館している場合もあります)

施設の詳細は、市報でご確認ください。



日本の南進政策に対し、アメリカ力は石油輸出禁止の経済措置で対抗してきます。これに対し近衛内閣は、対米開戦を避けるため外交交渉によって打開を図ります。しかし、アメリカ力は、独ソ戦争を有利に進めるため、日本から攻撃をしかけるよう英国との間で密約を取り交わします。

本稿では、米英の狙いと日本軍の対応状況について記述します。

〈米は、独ソ戦線参戦のため日本からの一撃を望んでいた〉
(近衛首相が戦争を回避するため日米の首脳会議を提案したが、この提案を受けたアメリカ力は、昭和十六年八月九日から十二日までの間、密かに米英首脳会談を行っていた。)

実は、この米英首脳会談で密かに対日の軍事方針も決められていた。いずれ近い将来に日本との間には武力衝突が予想される。そのためにアメリカ力は軍備の新鋭化を図らなければならない。戦時体制への移行も差し迫った問題だ。「しばらく日本をあやしておかなければならぬ」。それが二人の結論だった。

米英の思惑は、ナチスドイツがヨーロッパを軍事的に席巻している状態をひっくり返すため、アメリカがイギリスをはじめとする連合国側について参戦することだった。そのために「日本に一撃を加えさせて」自動的にドイツに対米戦の先端を開かせることも内々の了解となった。

しかし、ルーズベルト(写真)は、「戦争に加わらな



い、ヨーロッパでの戦争には中立である」との方針を国民と約束していた。ルーズベルトとハル國務長官には、アメリカがヨーロッパ戦線に参戦するための大義名分が欲しかった。

その前段階として、まず日本にアメリカに対する軍事行動をとらせ、受け身の形で日本との間に戦争状態を作る方針を立てた。ルーズベルトは、その方向に国策を向けようとしたのであった。

また、アメリカの情報機関は、日本政府とワシントンの野村駐米大使との間でやりとりされる暗号電報の解読に成功していた。

以上の状況を整理すると、ルーズベルトとチャーチルにとつて、日本の陸海軍の対米戦争派はもっぱら便利な存在だった。日本の軍事指導者たちの戦争に訴えるという強硬派こそ、待ち望んでいたものだった。

〈米国が会談に二つの見解を発する〉

近衛は、ルーズベルトとの首脳会談を提案し、こういう方向で行いたいという内容を含んだ文書をルーズベルトに届けた。ワシントン時間の八月二十八日であった。

ルーズベルトは、野村大使に「近衛の前向きなメッセージに感動した」と述べた。しかしハル國務長官は、「アメリカと日本の間を円滑にするには、日本が中国から撤兵する以外にない」と強い口調で言った。

日本政府は、野村大使から好意的なルーズベルトの意見と否定的なハルの見解の二つの電報を受け取った。

苛立った東條は、アメリカ力は交渉をまとめる気がないのではないかと、対米戦への含みを周辺にもらし始めた。また、石油がなくなろうと日本はじり貧に陥る。そうしなければ国として自立し得ないと考える軍事指導部の幕僚たちは、首脳会談自体に冷たい目を向けて行った。

石油は、全面輸出禁止を受けても、日本の商社は様々な独自ルートを使って石油輸入を考えていたが、そんな商談が進み始めたとの噂を耳にした陸軍省軍事課の幕僚は、その商社に乗り込み、「石油がないという前提で進んでいる国策の邪魔をするな」と恫喝した。

〈対米英戦の覚悟から現実的な選択肢へ〉

南部仏印進駐が決まった7月2日の御前会議において、「帝国国策遂行要綱」が決定され、そこでは「対英米戦を辞せず」の方針で軍事行動を起こすと明記されていたが、この段階では、「戦争を辞せざる覚悟」という覚悟を述べたにすぎなかった。日本がこういう覚悟をしていれば、たとえ南部仏印に進駐してもアメリカは報復措置を採らないだろうと読んでいた。しかし、現実には、アメリカの報復が日本の軍事指導部が予想したよりもはるかに厳しい措置であった。

その後、近衛とルーズベルトの首脳会談の可能性について様子見が行われていたが、八月の終わりになっても会談の進展がないことに焦る軍部強硬派は、次第に「対英米戦を辞せず」という一節を「現実の選択肢とせよ」と言い出した。

そこで国策をどのように決めるかという日程として、九月三日大本営政府連絡会議を、この決定を天皇の臨席を仰いで確認するための御前会議を9月6日に開くことが決定された。(保坂正康著「陰謀の日本近現代史」朝日新書より。写真も同じ。)

〈同時期の上山の出来事〉
上山市史年表より

昭和十六年四月 蔵王分郷開拓団本隊山口

新次郎(小倉)等二十一戸

が渡満入植する。

九月 バス、ハイヤーへのガソリンの配給が停止となる。

(次回は、大本営政府連絡会議の状況について記述する予定です。)